

〈学校教育目標〉 学び合う 支え合う 鍛え合う



のぞみ

雨竜小学校だより

発行 雨竜町立雨竜小学校

校長 三好考央

令和5年7月3日

第6号

〈めざす子どもの姿〉 4つのしっかり「あっ!そうか!!」

暑い日が続くようになってきました。学校では熱中症を予防することを第一に考え子供たちの指導にあたっています。幸い、雨竜小中学校は各教室に冷房が完備されていますが、長時間使用すると換気が悪くなったり、冷房が苦手というお子さんもいたりすることから、1日中付けたままということにはなりません。ですから、涼しい服装の奨励や適時水分の補給させています。また、マスクの脱着は自由ですが、感染予防で強く必要と感じていない限り、暑い日は教室でも外すよう奨励していきたくと考えています。

少し前にテレビのニュースで、ある県の小学校のマスク着用割合について報道されていました。低学年はほぼ100%近く外しているのですが、学年が上がるにつれ着用率が上がるということでした。感染対策というより『素顔を見られるのが恥ずかしい』という理由が第一に取り上げられていました。これまでの3年間、学校ではマスクをつけるのが必須の条件で、外していれば注意を受けるという生活を送ってきました。家族以外に素顔を晒す機会がほとんどありませんでしたので、ニュースで語られていたことも頷けます。

当然のことですが、マスクをする・しないは個人が決めることです。しかしながら、顔を隠す目的でマスクをつけ続けるのであれば、「大丈夫だよ」と語りかけたいです。子供の成長で欠かせないのは自己肯定感を高めてあげることです。すなわち、自信をもって生きていく力です。自分をマイナスに捉えるのではなく、プラスに捉えることがとても大切です。

マスクの脱着が個人の判断になり3か月あまりが経ちました。学校ではこれまで通り、熱中症の危険性がない限り脱着についての強制はしません。3年前は顔を見られるのが恥ずかしいと思う子はほとんどいなかったのですから、感染不安以外で、もし雨竜小学校に恥ずかしいと思う子がいるのであれば、「大丈夫だよ、あなたは、あなたらしさが素敵なんだよ!」と伝えていきたいと思えます。

日常の一コマ



3年生 桜の種取り
地域の山さん
協力の6年生
に
ごなっ
たの木の種を
取
り
ま
し
た。



2年生 保育園との交流会
2年生児童の司会
進行でライオン組さ
さんと楽しいひととき
を過ごしました。



5年生 宿泊学習
6月28、29日に宿
泊学習に行ってきた
た。写真は旭川のサイ
バル(科学館)の様
子です。